

さんくす

三区行政区役員紹介

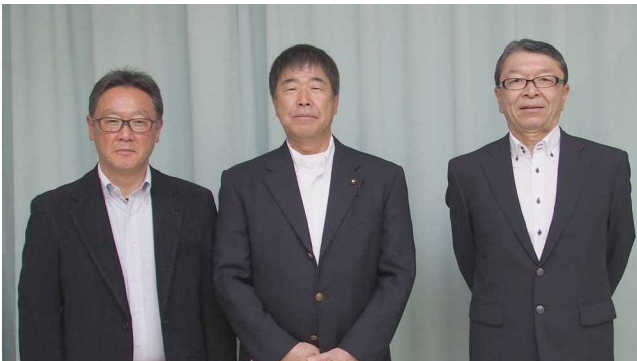
第三区区長 藤生定雄

本年度、区長になった藤生定雄です。前区長よりバトンを渡され、行政活動で副区長の赤石勝、岡田弘と共に区民の皆様にお世話になることとなりました。

令和3年においても、コロナ禍の影響から昨年と同様に活動を制限されたり、区民の皆様説明不足等のご迷惑をおかけすることが多々あると感じます。しかし、全力で困難に対処すべく3人で力を合わせ取り組む所存でございます。

総会で承認をうけた三区公民館建物の屋根部分の塗装修復計画を、本年から2年計画で行うほか、昨年計画された公民館ホールの外出入り口に雨よけのひさしの取り付け工事を実施したいと考えます。

なお、公民館長は赤石光史、副公民館長は森田広行と藤掛貴志です。



左から赤石副区長、藤生区長、岡田副区長



赤石区長・川島区長・須藤市長・早川区長・鈴木会長

区長らが市に通学路安全の要望書

笠懸東小学校に通学する学校区の、笠懸町一区の川島三男、二区の早川毅、三区の赤石太郎ら3区長と、鈴木浩司PTA会長の4人が、3月12日(金)に須藤昭男市長を訪れ、通学路安全確保の要望書を提出しました。

主な内容は阿左美バイパスの阿左美アンダーの早期供用開始と、まなび橋西の歩道橋の存続、移設された阿左美駅から100メートルほど新桐生駅側に位置する東武桐生線桐第69号踏切の安全確保を望むもの。

阿左美アンダーは240人が通学に利用していましたが、現在は工事中のため拡幅工事が進む交差点を横断するため、安全確保が不十分なことが挙げられます。

歩道橋については、小学生や幼稚園児などが利用していて、地域住民にとっても重要なものだとして、存続を強く求めるものです。

踏切は幅が狭いうえに、踏切と県道の距離が少ないことから、車両が一時停止するスペースが確保できないだけでなく、踏切内への閉じ込め事故の懸念もあってあります。

散歩道(16) 競艇場

戦後の復興期、当時の笠懸村は財源を積極的に確保しようと公営ギャンブルの誘致に取り組みました。しかし、設置のための経費が準備できず実現できませんでしたが、昭和26年にモーターボート競走法が成立したのを機会に桐生市が競艇開催の準備を進め、昭和31年11月に開催にこぎつけました。

笠懸村も競艇の開催に取り組みましたが、国の認可条件が人口3万人以上であったため、認可を受けられませんでした。そこで、薮塚本町(現太田市)、大間々町との3者で「阿左美水園競艇組合」をつくり合計人口34,560人となり、この条件をクリアし、翌32年5月から開催を始めました。

当時の笠懸村では競艇の開催による収入は大きく、競艇事業の社会性を考慮し、様々な取り組みが行われました。笠懸村の小学6年生に、夏休み期間中に2泊3日の海での水泳を体験させる臨海学校事業もその



取り組みの一つだそうです。

競艇場に、ナイター開催が無かった頃は日中のみの開催でした。そのため競艇の開催日は競艇のレースが終了すると、多くのお客さんが徒歩や自動車で帰路につきます。

道路には外れた舟券がたくさん捨てられていて、舟券が道路周辺の家や畑など、いろいろな場所に散乱していました。子どもたちは「競艇がハネた」と言って、競艇からの帰路の自動車で混み合うなか、自身の通行に気をつけたものでした。

阿左美駅駅前広場完成を祝う

移転・新設された阿左美駅の駅前広場が完成しました。3月30日(火)午前11時から駅前広場で阿左美駅前広場完成式典が地元住民や来賓、議員など、およそ50人が参加して、市長らによりテープカットが行われました。

阿左美駅は、阿左美バイパスの拡幅に伴い移動したもので、令和元年から移設工事に着手、令和2年3月から新駅の供用開始、令和3年3月に旧駅舎の撤去と駅前広場の完成となりました。



関係者らによるテープカット

駅前広場は、一般車両のほか、タクシー、電話でバスなどの乗降場所、送迎用駐車場7台、駐輪場は60台が確保されました。また、観光案内や情報を発信する大型ディスプレイも設置されています。

完成が待たれる阿左美アンダー



姿を現した阿左美アンダー
5月3日のようす

関連工事として阿左美アンダーの延伸工事中で、県道北側と駅前広場、線路南の東小側を結ぶ跨線橋・歩道橋の施工が予定されています。

阿左美アンダーの完成予定は令和4年5月で、それまでは交通量の激しい阿左美バイパスの信号を渡るため低学年生徒にとっては危険な通学路です。

跨線橋・歩道橋は通学路の安全を守る重要な施設として地元区長らからも要望が出されていて、早期の完成が待たれています(関連1面)。

三区総会

公民館屋根塗装修繕を提案

令和2年度の笠懸町第三区総会が、3月20日(土)午後6時から公民館で開催されました。

赤石区長から行政の推進にあたって感謝とお礼の挨拶がありました。

続いて、武井達夫前区長を議長として議事に入り、令和2年度事業報告、令和2年度決算報告、監査報告、地区公民館会計報告、子ども育成会会計報告、令和3年度事業計画及び予算(案)、新役員が紹介され、全ての議案が承認されました。

続いて新区長の藤生区長から「コロナ禍の中でも一致団結して三区を良い地域にしていきたいので、ご協力をお願いします」との挨拶がありました。

事業計画として承認された公民館屋根塗装修繕事業は、16年前に修繕塗装を行って以来であり現在部分的に剥げが目立ってきたことから、市に対し6月に要望書を提出予定です。

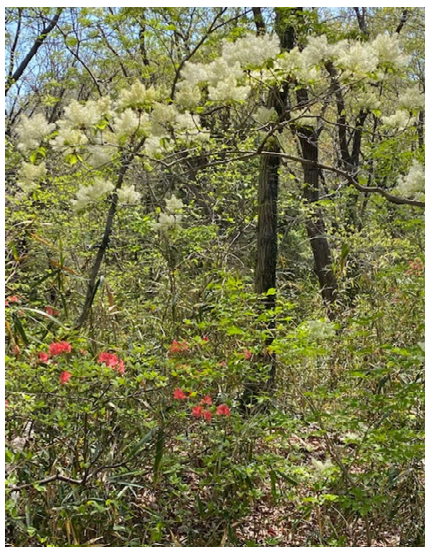


茶臼山・八王子山系ぶらり紀行(1) マルバアオダモ街道

昨年度は荒神山を中心に紀行を掲載しましたが、今年は少し範囲を広げて茶臼山、八王子山系一体の四季の様子を中心に掲載させていただきます。

荒神山の東小体育館側の沢のカタクリと一輪草は春の風物詩として知られていますが、茶臼山から樹徳幼稚園の間の沢には、カタクリと二輪草がいち早く咲きだします。また広沢の八王子神社から登る沢にもカタクリが自生しています。

今年の春は、山一帯にマルバアオダモの白い花が咲き乱れていて、ヤ



マツツジのオレンジと新緑とのコントラストが見事でした(写真)。

この山系にこんなに多くのマルバアオダモがあったのかと気付かされました。ベテランのハイカーに聞いても、ここ数年はほとんど咲いていなかったとのこと。来年咲くことを期待して里山散策の計画をしてみたいかがでしょうか。

4月上旬に野生ランが盗掘され、咲くのを心待ちにしていた人達を悲しませました。自生している貴重な植物の盗掘は絶対にしないように啓蒙していく必要があります。

令和3年度

行政及び各種団体役員

- * 行政区 区長:藤生定雄、副区長:赤石勝、副区長(会計):岡田弘
- * 地区公民館 公民館長:赤石光史、副公民館長:森田広行・藤掛貴志
- * 産業区 区長:赤石忠秋、副区長:赤石敏男、副区長:赤石信之、武井昌義・小林政雄・赤石秀男・赤石陸翁・下山博三
- * 母子保健推進委員:武井登美代・丸本寿美子・森田滋子・下山絹子・阿部晴美
- * 親老会 会長:藤生吉雄、副会長:大須武夫・赤石磯吉、監事:小林政雄、高木三郎・開発功、女性部長:赤石節子・久保田イク・赤石ヨシ子、相談役:赤石幸雄
- * 防犯委員 赤石太郎・深沢美春・武井均
- * 青少年育成推進員 須藤利晴・岩野一
- * 地区公民館防火管理者 下山和英
- * 笠懸町交通指導員 渡辺清・須永茂
- * 交通安全会 支部長:武了一、婦人支部長:武井しのぶ、副支部長:武井俊一・赤石立男、副婦人支部長:星野敬子
- * 体育協会 支部長:中村正義、岡田勉・塚本吉昭・赤石知巳・丹羽弘光・今泉健司・森田徹・藤生大介・須藤秀和
- * 民生委員・児童委員児童委員 会長:森田峯治、和泉たか代・下山登美子・赤石彦三
- * 福祉部 会長:森田峯治、藤生定雄、和泉たか代・下山登美子・赤石彦三・赤石太郎・赤石勝・岡田弘・渡辺清・高野千歳・大須武夫
- * 子ども育成会 会長:小久保美代、副会長:今泉健司・丹羽あゆみ、須藤早妃・小野里久美・山本久美・片桐美佐・小山博子・大手ひとみ・前井孝典・小林久美・長谷川千絵・堀川則子・森田浩代・船橋郁美・羽廣陽子・児玉聡美・小野純子
- * 八木節愛好会 会長:赤石晋一、副会長:松田周明、会計:赤石晋一、顧問:藤生福造・武井道夫
- * かさかけヘルス 部長:赤石君子、会計:金子信子
- * 安全安心推進委員会 委員長:森田敏章、副委員長:藤生吉雄、会計:斎藤利弘、顧問:赤石晋一・赤石康一
- * さんくす広報委員会 委員長:武井章、編集長:新井栄、武井幸雄・須藤利晴・赤石太郎・植竹晴彦・金子忠司・岡田弘
- * ひまわりコーラス 部長:岩野次代、下山まち子・関根迪江・藤生恒子・丸本寿美子・久保田イク・星野静代・武井登美代・桐生陽子・赤石ヨシ子
- * みずほ会 赤石節子
- * ゴルフ愛好会 小林政雄
- * 消防団第一分団 新井博文 (敬称略)

青パト再開に多くの課題

地域の安全を守る青色防犯灯車両によるパトロール(通称青パト)の課題を、安全安心推進委員長の森田敏章さんに伺いました。

現在は新型コロナウイルス感染症のため、パトロールが中止になっている事については「コロナ感染が落ち着くまでは再開は難しい」とのことでしたが、もう一つの課題は「パトロール車の運転には警察の講習を受ける必要があり、来年度には研修を受けないと全パトロール員の運転資格がなくなる」とのことでした。

パトロール員の高齢化もありパトロールの辞退もあるとのことで、新しくパトロール員の増員をしたくても、コロナウイルスの関係で、講習会を開くことも難しいのが現状のようです。

パトロール再開時にどれだけの人が参加してくれるかが不安だとする森田さん。地域安全に対する住民意識に頼らざるを得ないところですが、警察にもコロナの現状を踏まえて柔軟な対応を求めたいところでは。



令和3年度第1回 わかばサロン

4月7日(水)、三区公民館において令和3年度第1回わかばサロンが開催されました(写真)。

昨年は4月7日(火)から新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言が発令されました。その後も高齢者に対する感染防止の観点から全てのわかばサロンが中止されました。1年ぶりの今回は公民館入口での検温、アルコール消毒とホールの換気や密を避ける工夫をし、時短での開催となりました。

今年度初回なので まず民生委員と親老会役員の紹介と挨拶がありました。次いで、新型コロナウイルス感染症について、福祉部の高野千歳さんから、グラウンドゴルフ部の対策を例に、新型コロナウイルスの特徴や感染原因、防止方法などについて、手作りの資料を基に詳細に説明がありました。

また、地域包括支援センターから口腔ケアについて講話がありました。最後に「不要不急の外出自粛」と言われ続けて、運動や人と話すことが減っていることから、参加者たちは簡単な体操で体をほぐす運動をしました。

さんくすがインターネットでも見られます

<https://sannkusu-kasakake.com>

右のQRコードリーダーを読み込んでください



土地改良区組合員が水路清掃



4月24日(土)、阿左美沼土地改良区三区組合員による堀ざらいが実施されました。

堀ざらいとは水田に水を導くために農業用水路に溜まったゴミや土砂を清掃する作業です。毎年春先の米作りが始まる前に行われる水田地域の恒例行事で、貴重な共同作業です。地域によっては江浚い(えざらい)、堰ざらい(せきざらい)、堰普請(せきぶしん)など呼び方は異なりますが、弥生時代から続く稲作の農耕儀礼として現在も継承されています。

しかし、近年農村地域での過疎化による農業者の減少や高齢化の進展により、農業用水路の適切な維持管理や保全が難しくなっています。

そこで、国、県、市の支援を得て地域の環境や保全を農業者だけでなく自治会など地域住民も参加し、地域で守り育む共同活動として「農地・水環境保全協議会」を立上げる取組も始まっています。水田が有する洪水防止機能、景観保全機能、また稲作に由来する五穀豊穰を願う伝統文化や祭事など今後も受け継がれていくことを願っています。

子ども育成会の活動について

日頃より、育成会活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。昨年度は新型コロナウイルスの影響により、感染拡大防止と皆様の健康を最優先と考へて育成会および子ども会の活動を自粛しました。

今年度は新役員体制となり、活動を再開できるよう準備をしているところですが、ご存じのとおり依然として新型コロナウイルスの感染が収束していないのが現状となっています。

そのため、育成会活動につきましても、行政区など関係団体と連携相談をしながら活動の再開を決定していきたいと考えております。行事の中止ならびに行事の再開については、回覧板にてご案内させていただきますので、何とぞ区民皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

令和3年度 三区子ども育成会会長 小久保 美代

ちょっとピンぼけ

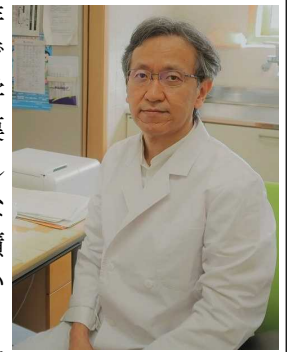
2011年から行われていた《ゆるキャラグランプリ大会》は昨年10月、岩手県のご当地キャラ、たかたのゆめちゃんが優勝しました。これにより、コンテストは最終の10回目となり、無事に終了しました。

大会は期間中、経済効果や知名度を求めて多くのゆるキャラを各地域に生み出してきて、ぐんまちゃんは2014年大会優勝しました。

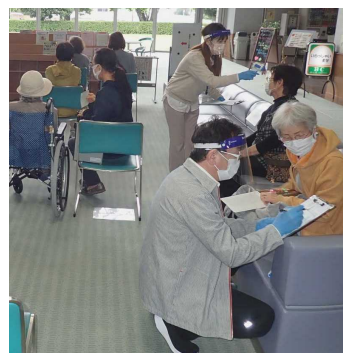
みどり市のマスコットキャラ、みどモスも2年間大会にチャレンジしました。結果、一昨年14位、昨年の岩手県大会では972体の応募キャラの中で11位でした。

事業所紹介(2) くりた医院

くりた医院は内科・泌尿器科が主になりますが、東洋医学の専門医でもあり、西洋医学だけでなく、漢方薬を中心にして東洋医学的な診断、診療も積極的にを行っています。



栗田院長は「高齢者の排尿異常の分野以外の相談事にも対応し、自分で対応できる分野は対応します。症状に応じて他の専門の病院と連携し、紹介するという具合で交通整理をするのが役割。代替医療や補完医療といわれるものについてもできる限り、ご相談にのりたいと思っています」と話されていました。



新型コロナウイルス ワクチン接種開始

市内の75歳以上の高齢者を対象に、新型コロナウイルスのワクチン接種が4月28日(水)から笠懸公民館で始まりました(写真)。

4月19日(月)から始まった接種予約は、4月22日(木)に予定数に達し、受付が終了しています。

また、かかりつけ医での個別接種はワクチンの供給量が少なく、接種できる人数は限られそうです。

なお、65歳以上74歳以下の方の予約開始日は6月1日からの予定ですが、64歳未満の接種は、ワクチンの配布時期が確定しておらず、接種のスケジュールは明確に示せないようです。

この大会の目標の一つは経済効果が期待される、ゆるキャラで東日本大震災の復興に少しでも役立ち、人々に元気を届けることだと記憶しています。

2013年の大会組織委員会で「2020年までで一旦終了」と決まりました。新型コロナウイルス対策の難しい時代が始まり、ゆるキャラで盛り上がっていたことが懐かしく思えてきます。

叶うなら、ゆめちゃん、みどモス、ぐんまちゃんなど、すべてのゆるキャラ達が本来の活動が続けられ、困難な時代でも、皆に笑顔と元気を与え続けてくれることを願います。《さんくたろう》